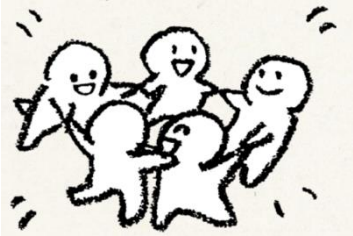
元気・集中・思いやり



熊野第三小学校５年生学年通信　令和５年７月２０日号

野外活動報告

６月２７日から６月２９日の３日間,江田島青少年交流の家に２泊３日の野外活動へ行ってきました。初めてお家の方と離れて集団で宿泊をするという子ども達も少なくなく，戸惑いや寂しさとワクワク感が入り混じった気持ちで江田島に向かいました。

初日は，昼食後に早速カッター訓練をしました。海では命の危険が多々あるということで，あえて身を守るために厳しい口調の指導官のもと活動を行いました。一つの船をクラス全員の団結力で漕ぎ，艇が進んだ時には，充実感や達成感を感じていたようです。

２日目の午前中は，江田島焼きに挑戦しました。日常生活でなかなか経験することのない陶芸ということで，なかなか自分の思い通りに作品を完成させるのは難しかったのですが，講師の先生の手をお借りしたり友だちと協力したりしながら，何とか仕上げることができました。作品は，２学期に届くということで，とても楽しみに待っています。

午後は，雨天のため体育館でカプラをしました。カプラとは，薄い直方体の木製のブロックです。初めは子ども達も，ただの積み木遊びのように思っていたようですが，これを使って，自分達が表したいものを作ったり，制限時間内に出されたお題に沿って表現したりする中で，だんだん夢中になっていきました。そして，最後に全員でナイアガラの滝（立体的なドミノ倒しのようなもの）に挑戦しました。なかなかうまくいかなくてもあきらめず，全員が力を合わせて楽しむことができました。

夜は，昼間の雨の影響でキャンドルサービスに変更になりましたが，お家の方にご協力頂いて事前に準備していたスタンツで盛り上がりました。そして，最後に全員が１本ずつろうそくを持って，炎によって作り出された幻想的な雰囲気の中で，営火長（教頭先生）の話を伺い，心に残るキャンドルサービスになりました。

そしていよいよ最終日，水晶山登山をしました。みんなで声をかけ合いながら，頂上を目指しました。暑い中でしたが，みんなでがんばることで最後まで登りきることができました。頂上からの景色は最高でした。

この２日間は，日常生活と離れた体験活動を行いました。二晩を友だち同士で過すというのは，小学校生活の中でも忘れられない思い出になったのではないでしょうか。熊野第三小学校の次のリーダーは５年生です。この２日間で学んだことを，学校生活でも生かしていってほしいといます。